

# 美人すぎる人妻女社長

ミヤコ

# AVデビュー!

年齢は  
ヒ・ミ・ツ☆  
元レースクイーン  
の美脚をとくと  
ご覧あれ!



GS  
glam sight



本中

美人すぎる人妻女社長ミヤコ  
AVデビュー!

専属

105  
minutes

税込価格  
¥800  
OSH-03

火照った身体を持て余した

上品さ漂う淫乱社長



### CONTENTS

- ①ハイグレオタードでインタビュー
- ②ハイグレオタードでフェラチオごっこ
- ③ハイグレオタードで手コキ
- ④ハイグレオタードで中出しSEX
- ⑤裸でアナル舐め
- ⑥後背位中出しSEX
- ⑦3Pダブルフェラ
- ⑧3P中出し孕ませSEX

誰もが目を奪われる  
美人すぎる女社長

AV  
Debut!!

芸能事務所の美人すぎる女社長がAVデビュー。  
モデルやレースクイーンの実験もある元芸能人でもある彼女。  
旦那である前社長が失踪したことで半ば強制的に事務所を  
引き継いだものの、経営は早々に立ち行かず。  
そんな会社のために、この度一肌脱ぐことを決心しました。  
久しぶりに触れる肉棒に、お淑やかな表情から一変、嬌声を  
あげて淫らに身をよじるドスケベ人妻の姿をぜひご覧ください。

XX歳とは  
思えない美脚



もう、いい歳したおばさんをからかわないの

GS 企画 グラムサイト  
制作 <https://www.glamsight.jp/>  
JPG|PDF|COLOR|2400x1800px  
OS-003|105min|800YEN



●このCG集は18歳未満への  
販売・貸出しを禁じます。  
●このCG集の無断複製、及び  
ネット上へのUPは禁止します。  
●この作品には18歳未満の  
人物は出演していません。

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止

美人すぎる人妻女社長ミヤコ  
AVデビュー!





「ミヤコさんは芸能事務所の社長さん、  
なんですよね？」

「あつ、はい。」

「元々旦那が社長をしていたんですけど、  
色々あつて失踪しちゃいました。  
それで……まあ、成り行きで」



大変ですね。それで何故AVに？

「旦那とは元々セックスレスで。その上仕事は大変だしストレスは溜まりまくるしで、色々発散したいなって。……まあ、そういうことにしてください」




事情がお有りのようで。  
ちなみに結婚する前はレースクイーンなども  
していたとのことで、今回ハイレグレオタードを  
着てもらいましたが……。

「事前に聞いていれば、ちゃんと処理して  
きたんですけど……」

いやむしろ「ニヤッてる」こと  
意義があると思うんですよ！  
(力説)

「は、はあ……(困惑)」





というわけで、「ごっちがもう  
興奮しちゃったので、そろそろ  
始めちゃいませうか。  
あつ、「ごっち」からは敬語はなしで  
(女社長っぽく)お願いします。

「お、わかりま……わかったわ」



「それじゃあ、まずはフェラから」

「はむ……んちゅう」

ほむ





んちゅ

ぢゅぽ

「はう……あっ、あっ、気持ちいい！」

「ずちゅ、ちゅぶぶぶぶぢゅぽ」



「ちゅぶぶぶん〜」

「めっちゃ上手いんですけど……  
そんな喉奥まで!」

ちゅぶぶぶ!!

ん

「あっ、ああ、イクう！」

「んぶうー！」

「あ……ありがとうございます。  
このままベッドに行きましょうか」

ド  
と  
ム



「いやあ、ミヤ」さん見てると  
オギヤりたくなっちゃういますよね」

「オギヤ、何？」



「母性を感じるというか。  
流石双子の母親って感じで」

「うーん……まあ、あの子たちは  
全然手がかからないけどね」



「そんなんですか？  
でも血の繋がらない子供を引き取って  
育てるなんて、それだけで凄いいと思いますよ」

「……そう言われると、素直に嬉しいわね」



「あっ、そろそろイキそう」

「うっわあ。うっわあ、うっわあ」



「うー」

「すごい。こんなに飛ぶのね」





「それじゃあ続けて本番といきましょうか」

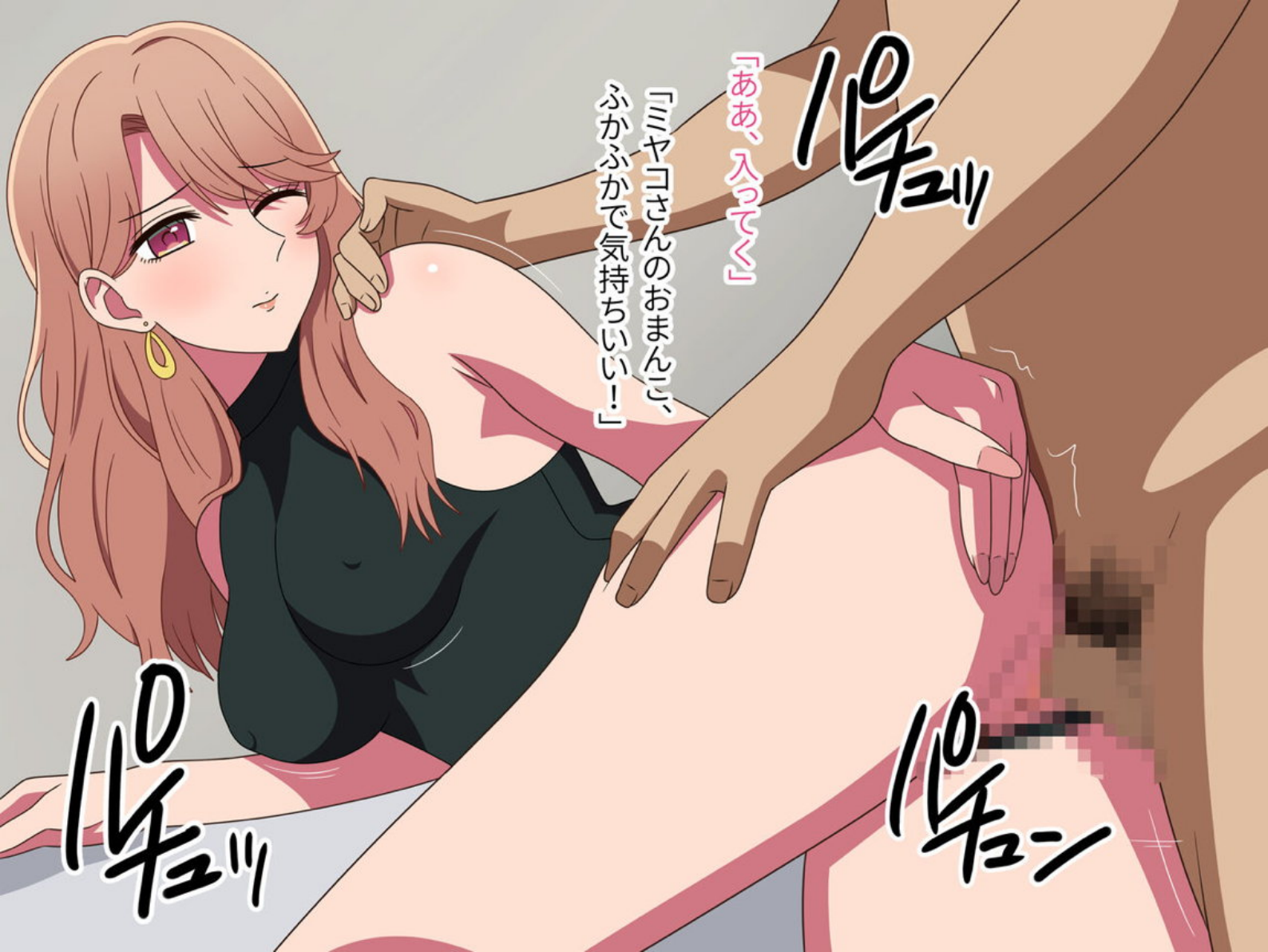
「い……いいんだけど、二回も出したのに  
もうできるのっ…」

「もちろん。ミヤコさんみたいな美人と生で  
できると思うだけで何度でも勃起しますよ」

「わ、若いのね……」

ズニユ





「ああ、入って〜」

「ミヤ」さんのおまんこ、  
ふかふかで気持ちいい！」

10 14 20!!

10 14 20!!

10 14 20

10  
14  
20

「んっ、凄い。」

久しぶりのおちんぽ、硬くて大きい……」

「どうです？ 旦那さんのと比べて」

「そんなの、若い子のおちんぽの方が  
気持ちいいに決まってるじゃない」

10  
14  
20

10  
14  
20

ア  
タ  
ン

「あー、クツッ！」

「一回も出したのに我慢できねー。」

「イク、イキますー！」

「あはあ、きてえ！」

「人妻まんこに無責任中出ししてえ」

「うっっー！」



「ああ……出てる。」

久しぶりのザーメン、子宮に出されてる……」

「すっげ。おまんこギューって締め付けてきて、  
搾り取られる……」

んん

ドクッ  
ドクッ





「はあ、はあ、はあ……」

「……ふう、最高でした」



「あっ.....」

「すっげーヒロイ」



「すーい、こんなにたくさん……!」

「レオタード汚れちゃいましたね。  
脱ぎましょうか」

ポタ





「んっ、んん」

「やべー。こんな美人に  
アナル舐めてもらえるなんて」

んんん



「あっ、ああ……」

「んふっ、んん、ん」

ん

んん



「精子のぼってくる。イク、ううっ!」

「んちゅ、ちゅぶ、んんん!」

んちゅ

んんん



「んっ」

「あ.....」

んっ

ズ  
ン  
ン

「ちょ……まだできるの〜」

「俺もびっくりです。  
こんなに勃起したの  
初めて……っで！」

「んはあ！」





イン

イン

イン

イン

「んん、おまんこめくれちゃう」

「はあ、はあ、はあ……っー」

「あっ、あっ、子宮口ゴリゴリゴリまで。  
それダメ、気持ちよすぎてイク、  
イツちゃう！」

「おまんこまた締め付けてきて……  
俺もイク！一緒にイキます！」

パン

パン

パン

パン

グワァァ

「イッ………くぅぅー!」

「あはあ………んん!」

「おまんこイッちゃうぅぅ………っ!」





ドクッ  
ドクッ

「はあ、はあ、はあ……  
流石にもう無理」

「い、一旦休憩しましょうか」

んん

んん



「上手いですね、パイズリ」

「これ好きな男多いからね！  
結構練習したから」

ムキムキ



「ミヤコさん、本当に美人だし  
気が利くので、マジで彼女にしたいわー」

「……もう、いい歳したおばさんを  
からかわないの」



「いやいや、マジですって。  
旦那さんと離婚したら連絡くださいよ。  
彼氏に立候補しますんで」

「も、もう……………」



「あー、イク。イキそうです」

「♡♡♡……いいわよ、イッて」





「……く……ん」

「あは、いっぱい出たわね」

ゴウゴウ

「……はい、じゃあ最後に3Pタイムです」

「お願いするっす!」

「ふたり同時は流石に初めてね……んちゅ」

Ma



「ちゅぶ、んん……ちゅぶねん」

「あー、気持ちいい。  
それにすっぱーエロいっす」

ちゅ

ちゅ

ちゅ







「んふう……んん、ゴクン」

「あー、ヤバい。  
てか、俺もう我慢できないっすー!」

セッ  
ラルル



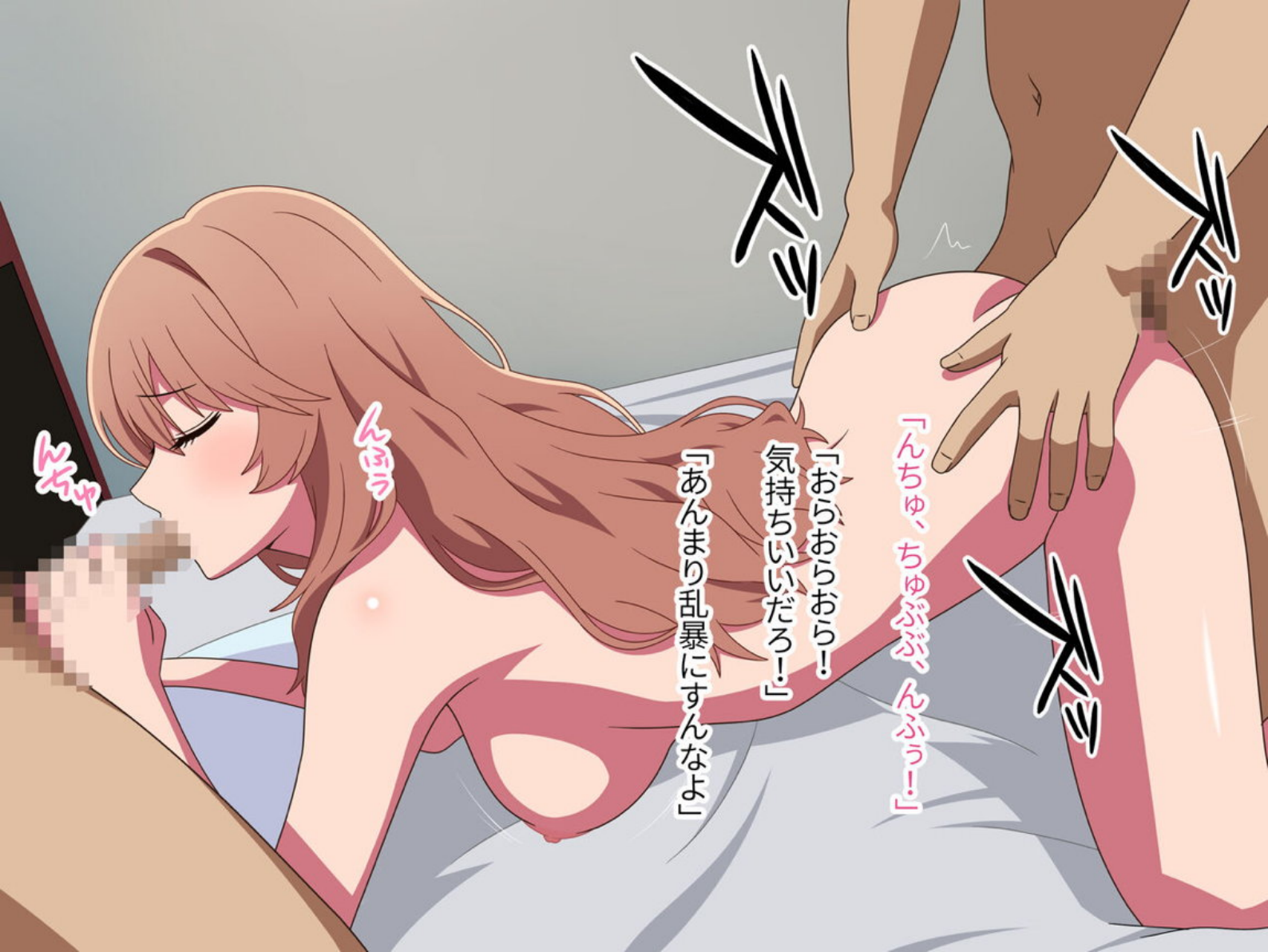
「ああ、すっげ。おまんこすっげー！」

「どうです？」

「さっきまでやってた俺のちんぽと比べて」

「そんなの、同じくらいのおっきくて………ムン〜」

ム



んちゅ

んふう

「あんまり乱暴にすんなよ」

「気持ちいいだろ！」

「おらおらおら！」

「んちゅ、ちゅぶぶ、んふう！」



「あー、イク、イクっす！  
膣内に出すぞ！ 孕め！」

「あっ、俺もまたイキそう。  
すげーな、俺今日八発目だよ」

ちゅるん



ゴクン

「……ふいー、お疲れ様でした」

「んふう、んん……ゴクン」

「んっ、んっ」

ゴクン  
キュルッ

「……てなことになることも最悪  
予想はしていたわね」

「どいつもどいつも  
芸能界にいると行き着く先は  
AVなのか……」





「あの人がいなくなつて、  
貴方たち二人を抱えて、  
当時の貯金だけじゃあやって  
いけなかったでしょうからね」

「それについては本当に  
感謝してる」



「幸い、ぴえヨンはじめネット  
タレントが稼ぎ頭になってくれた  
お陰で、思った以上に順調に  
経営できているから、そうは  
ならなかったけどね。  
ぴえヨン様様よ」

「にしては皆妄想の中の  
ぴえヨンの扱いが酷い気が  
するな……」

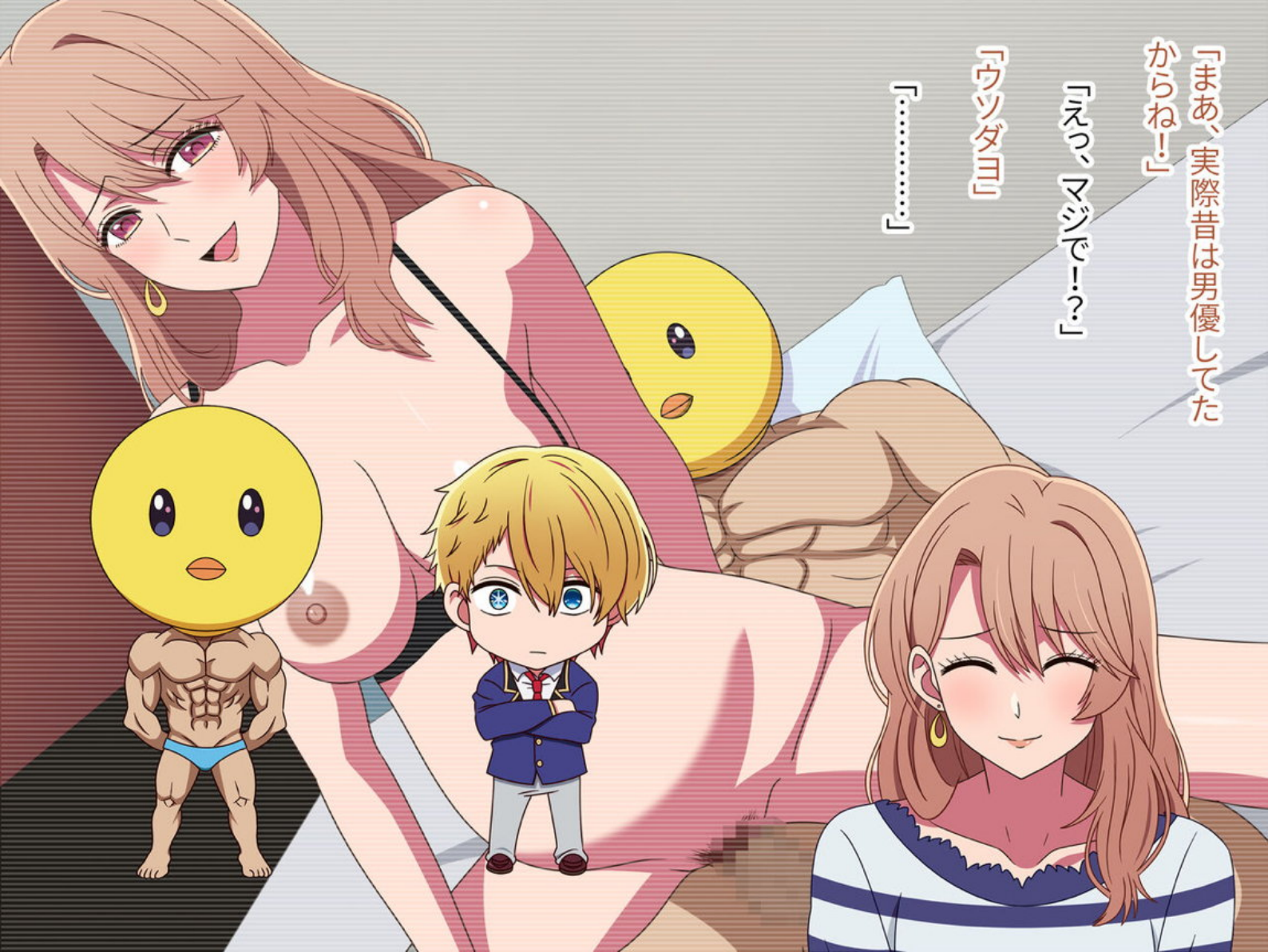


「まあ、実際昔は男優してたからね！」

「えっ、マジでー!？」

「ウツタヨ」

「……………」





CONTENTS







































































































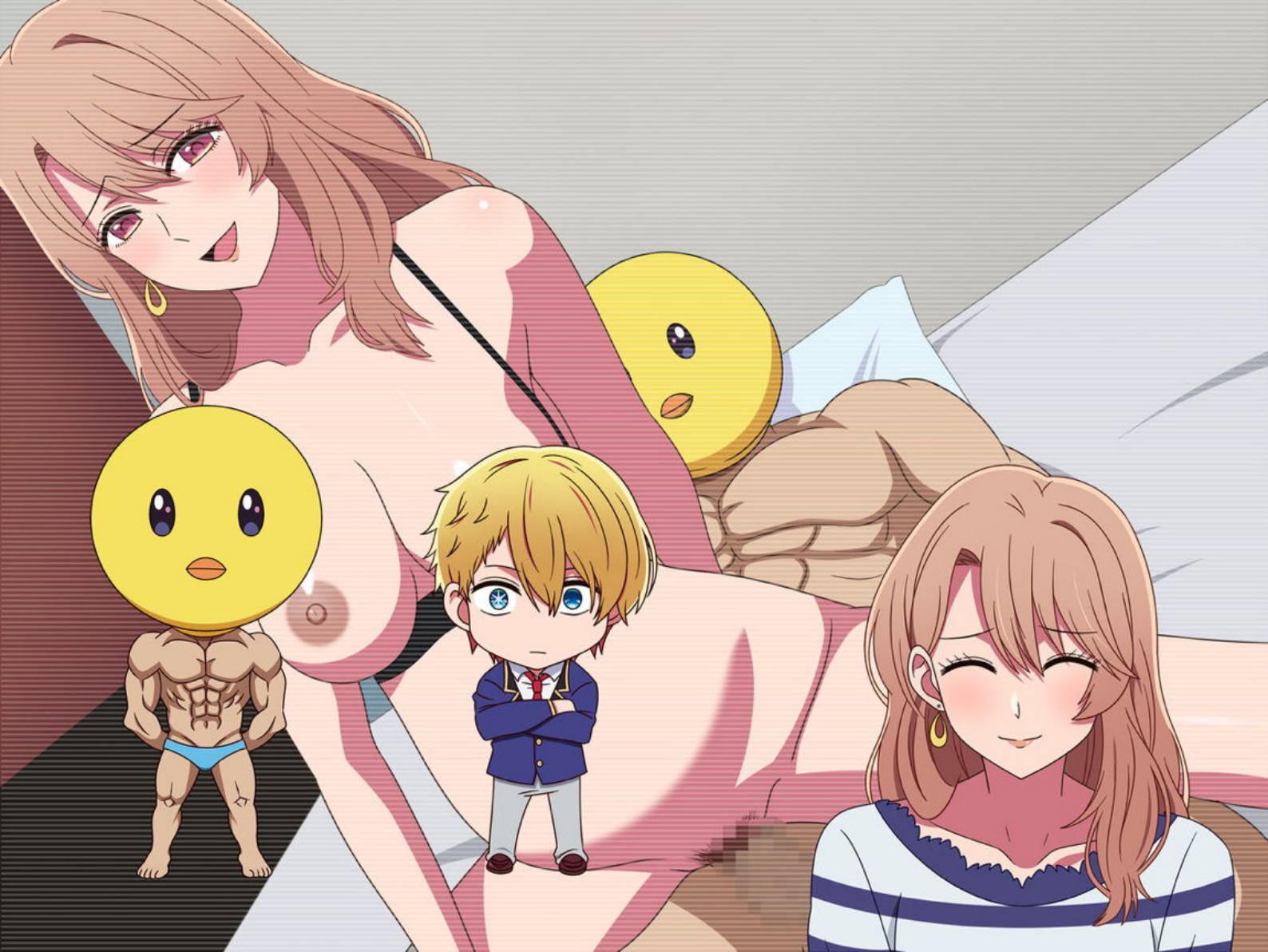










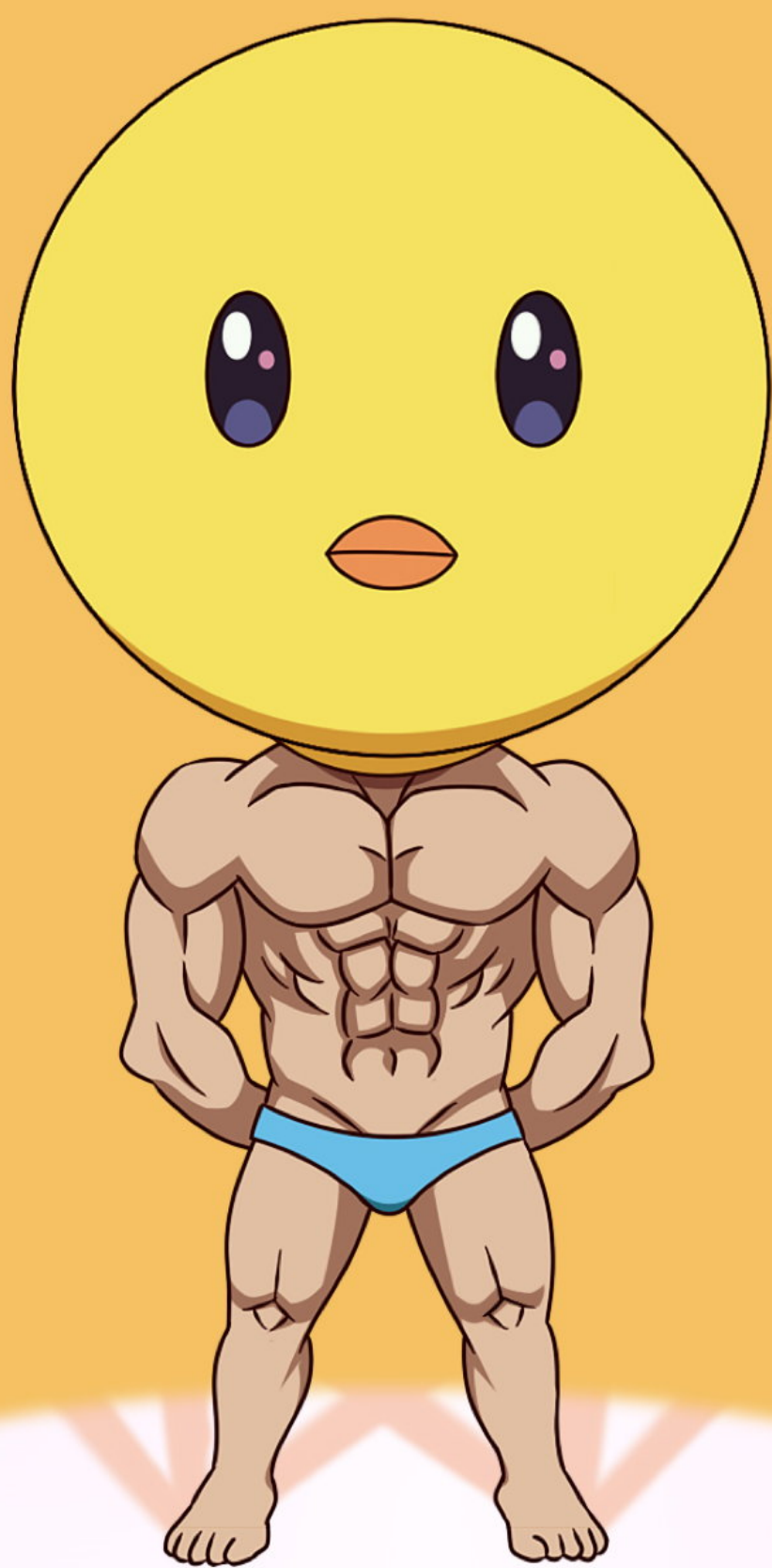






AI  
MUGEN KOUKYU  
EIEN OSHI !!!





BOKU  
NENSYU  
ICHIOKU DAYO ?